

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための 要 望 書

藤岡町長 様 古河市長 様
小山市長 様 板倉町長 様
野木町長 様 北川辺町長 様

渡良瀬遊水池は日本最大の遊水池です。この遊水池は、明治時代に足尾鉍毒事件のため、谷中村を犠牲にしてつくられたものですが、長い年月を経て、本州最大の面積を有するヨシ原となり、湿地の生物たちの宝庫となっています。

現在ここでは、２３０種以上の鳥類、７００種以上の植物、また１６００種以上の昆虫（各々の絶滅危惧種は２５、４９、９種）が記録されていて、全国的にも世界的にも貴重な湿地です。

こうした渡良瀬遊水池のかけがえのない湿地の生態系をより積極的に保全するためには、尾瀬のように、渡良瀬遊水池をラムサール条約（湿地と湿地の生物を守るための国際条約）の登録湿地に指定して必要な対策を講じることが求められています。この登録湿地に指定されれば、渡良瀬遊水池の素晴らしさを世界に発信して、その自然を保全しつつ、新たなまち起こしを進めることができます。自然と人間との共存を図ることが「ラムサール条約」の精神なのです。

遊水池の地元市町におかれましては次回（２００８年）のラムサール条約締約国会議で渡良瀬遊水池がラムサール条約登録湿地に指定されるよう、環境省に対して要請されることを要望します。

氏 名	住 所

年 月 日

取り扱い団体

連絡先及び返送先

（署名後の本要望書は藤岡町長に提出し、小山市長、野木町長、古河市長、板倉町長、北川辺町長にはその提出を行ったことを通知します。）

渡良瀬遊水池をラムサール条約登録湿地に指定するための 要 望 書

藤岡町長 様 古河市長 様
小山市長 様 板倉町長 様
野木町長 様 北川辺町長 様

渡良瀬遊水池は日本最大の遊水池です。この遊水池は、明治時代に足尾鉍毒事件のため、谷中村を犠牲にしてつくられたものですが、長い年月を経て、本州最大の面積を有するヨシ原となり、湿地の生物たちの宝庫となっています。

現在ここでは、230種以上の鳥類、700種以上の植物、また1600種以上の昆虫（各々の絶滅危惧種は25、49、9種）が記録されていて、全国的にも世界的にも貴重な湿地です。

こうした渡良瀬遊水池のかけがえのない湿地の生態系をより積極的に保全するためには、尾瀬のように、渡良瀬遊水池をラムサール条約（湿地と湿地の生物を守るための国際条約）の登録湿地に指定して必要な対策を講じることが求められています。この登録湿地に指定されれば、渡良瀬遊水池の素晴らしさを世界に発信して、その自然を保全しつつ、新たなまち起こしを進めることができます。自然と人間との共存を図ることが「ラムサール条約」の精神なのです。

遊水池の地元市町におかれましては次回（2008年）のラムサール条約締約国会議で渡良瀬遊水池がラムサール条約登録湿地に指定されるよう、環境省に対して要請されることを要望します。

氏 名	住 所

（ご署名いただいた住所氏名は目的外の利用をいたしません）

2007年 月 日

取り扱い団体 日本野鳥の会栃木県支部

連絡先及び返送先 日本野鳥の会栃木県支部 320-0027 宇都宮市塙田2-5-1共生ビル2F
電話028-625-4051 FAX028-627-7891